

# 人口減少問題に対する施策は

## 1人でも多く長万部町へ 来てもらうよう施策を講じる



大谷 敏弥 議員

**大谷** この町村も、人口減少の危機に面している。若者世代が安定した職を得られなければ家庭を築くこともできず、未婚化による更なる少子化から、将来的に町を支える人が少なくなること懸念される。

町からの流出を防ぐと他町村ではいろいろな施策を掲げているが、長万部町としての施策は、

1、雇用状況は。  
2、保育や住宅建設の補助。  
3、企業誘致は。  
以上、3点について町長の所信を伺う。

**町長** 1、長万部町創生総合戦略に基づき、理科大との連携事業なども含め、雇用創出や移住定住の促進に向けた取組を進めているが、ハローワーク八雲によると、長万部町内の正社員の求人は現在16事業所ほどで、有効求人倍率は平成28年3月時点で1・41と比較的高く、町内企業は人手不足の状況である。現在、それら企業に対する支援策の一つとして、求人情報を効果的に周知できる

よう、町ホームページに求人情報をリンクさせる仕組みを検討している。

2、第2子以降の保育料を今年度から無料とした。また、

子育て支援センターでは、親子遊び場の提供や子育て相談、サークルの応援などを行っており、中学生までの医療費無料化や学童保育の実施など、子育て世帯への支援充実に努めている。

住宅補助については、今後、他自治体の事例を参考に検討する。

3、北海道新幹線札幌延伸工事の本格化に伴い、関係する工事事務所や寮の建設が予定されており、本町への経済効果が期待されている。また、人材が集まりさえすれば工場を増設する意向の企業もあることから、町内企業への支援や移住定住施策を進め、補助制度の情報

発信も強化し、引き続き企業誘致と雇用の拡大に取り組む。

**大谷** 保育料の毎月の負担は大変である。将来世代の子供の負担を軽減するため、さらなる減免を。財源はふるさと納税で補填しては。大変難題だとは思いますが、近い将来、高校生までの医療費無料化も目指しては。

このようなことで若者の負担を少なくし、子育てをしながら生活ができる状況を作っていく。保育や住宅施設の補助等で、定住化や少子化、人口減への対策にもつながると思うが。

**町長** 保育料のさらなる軽減や住宅建築補助については、財政の検証をしながら進める。

**大谷** 町民にも企業の内容や情報を発信していく。また、企業にとってやりやすい環境作りを地域の人々と協力し、企業



保育所の子どもたち

や人を呼び込む仕掛けをしていくことで交流人口が増え雇用も生まれ、それによりU・イターンにもつながるのでは。早めの対策を検討してほしい。

**町長** 速やかに検討し、進めている。企業とマッチングしながらいきたい。

雇用条件については、1・41倍の求人率があるが働く人がおらず、企業が困っている状況である。地元に残らないことが今は心配の種である。1人でも多く長万部町に来ていただけるような施策を講じたい。